学　習　の　指　針（シラバス）

教科名	国　語	実施学年	2　年	週時数	4時間

1　学習の目標等

学習の目標	（1）社会生活に必要な知識や技能を身につけ、国語を構成する言語文化に親しんだり理解したりすることができるようにする。 （2）身の回りの物事について論理的に考える力や、共感したり想像したりすることができるようにする。 （3）社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 （4）言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、国語を構成する言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする態度を持つ。
使用教科書 副教材等	伝え合う言葉２（教育出版）、よくわかる国語の学習２（明治図書）、国語辞典（各自準備）、つまずかない文法の学習（新学社）、単元別漢字（秀学社）、最新国語資料集（明治図書）、書写道具（各自準備）、学習の達成（新学社）

2　学習計画及び評価方法等

○評価欄には「知識・技能」及び「思考・判断・表現」についてのみ記載します。記号については以下の通りとします。「主体的に学習に取り組む態度」についての評価材料は『３．評価について』に記します。

(a)：授業内の活動　(b)：小テスト・単元テスト　(c)：定期テスト

学期	月	学習内容	学習のねらい	評価	備　考
第1学期	4	虹の足	・詩にこめられた作者の感動を読む。	(a) (b) (c)	年間を通じて漢字テストを実施します。 聞き取りテストについては、定期テストとは別に学期に 1～2 回程度、実施します。 授業内で１分間スピーチを実施します。 体育祭後に短歌の創作を行う予定です。
		タオル	・描写の効果や登場人物の言動の意味に着目して、作品を読み深める。 ・登場人物の描かれ方や、物語を構成する事物の効果などについて自分の考えを持つ	(a) (b) (c)	
		質問する力をつける	。・必要な情報を聞き出すために、どのような内容の質問をすれば良いか考える。	(a)	
	5	活用のない自立語	・名詞、連体詞、副詞、接続詞、感動詞のはたらきや特徴について理解する。	(b) (c)	
		新聞の投書を書く	・身近な事柄について課題を設定し、自分の意見を書く。 ・意見を構成するために、情報を集め、取捨選択する力をつける。	(a)	
		まちがえやすい漢字	・間違えやすい漢字についての理解を深める。	(c)	
	6	日本の花火の楽しみ	・説明的文章の構造を理解した上で、それぞれの文章を読み、自分の考えを持つ。 ・文章を読む際に観点を明確にし、読み比べることができる。	(a) (b) (c)	
		水の山　富士山			
		説得力のある提案をする	・意見と根拠を明確にした上で、聞き手を想定したスピーチを行う。	(a)	

		敬語	・敬語のはたらきや特徴について理解する。	(a) (c)	夏休みに作文の課題有。
		構成を明確にして手紙を書く	・相手に伝える内容や要件をまとめ、文章構成や段落間の関係を明確にした手紙を書く。	(a)	
	7	夢を跳ぶ	・自ら課題を設定し、適切な情報を選び、自分の考えをまとめる。	(a) (c)	
		話し言葉と書き言葉	・話し言葉と書き言葉の特徴を理解する。	(a)	
		観点を明確にして伝える	・複数の図やグラフを用いて、自分の考えを聞き手に分かりやすく伝える。	(a)	
		SNS から自由になるために／脚本で動きを説明する	・文章を読み、SNS についての自分の考えをまとめる。 ・小説と脚本の違いについて知る。	(a)	
		漢字の成り立ち	・六書や国字についての理解を深める。	(a)	
第2学期	9	持続可能な未来を創るために―不平等のない社会を考える／「ここにいる」を言う意味	・文章を読み、「持続可能な社会」の実現に向けた課題を共有し、自分の考えを書く。	(a) (b) (c)	毛筆の授業を数回行います。 冬休みに書初めの課題有。
		紙の建築	・事例と主張がどのように関連しているのかを捉えながら読む。	(a) (b) (c)	
		根拠をもとに意見文を書く	・根拠を明確にした意見文を書く。	(a)	
		活用のある自立語	・動詞、形容詞、形容動詞のはたらきについて理解を深める。	(b) (c)	
	10	敦盛の最期	・作品の世界観をつかみ、人物や情景描写を意識した朗読をする。	(a) (b) (c)	
		随筆の味わい	・古人のものの見方や考え方に触れ、それに対する自分の考えを持つ。	(a) (b) (c)	
		二千五百年前からのメッセージ			
		坊っちゃん	・近代文学に触れ、日々の読書に活かす。	(a)	
		短歌の味わい	・歌に詠まれた作者の思いを読み、様々な形で表現する。	(a) (b) (c)	
	11	夏の葬列	・場面展開と時間軸の関係を捉えながら、作品を理解する。 ・物語の展開や表現の工夫などについて、自分の考えを深める。	(a) (b) (c)	
		映像作品の表現を考える	・漫画と絵コンテの描写の違いについて知る。	(a)	
		漢字の多様性	・漢字の多義性について知る。	(c)	
	12	ガイアの知性	・推論を用いた説明的文章を読み、筆者の主張を捉える。	(a) (b) (c)	
		記事を書く	・文章や見せ方を工夫して、読み手に伝わりやすい資料を作る。	(a)	
		相違点を明確にして聞く	・話し手の考えと自分の考えを比較したり、質問したりしながら自分の考えをまとめる。	(a)	

第3学期	1	学ぶ力	・筆者の表現の特徴を捉え、表論文を読む。 ・筆者の考えを踏まえ、自身の学びについて振り返る文章を書く。	(a) (b) (c)	
		よりよい結論を導く討論をする	・議論や討論を通じて、互いの考えを尊重しつつ、より良い結論を出す方法を知る。	(a)	
	2	付属語のいろいろ	・助詞や助動詞のはたらきについて理解する。	(b) (c)	
		豚	・詩の構成や展開を踏まえ、詩を創作する。	(a) (b) (c)	
	3	走れメロス	・登場人物や語り手のものの見方や考え方について理解する。 ・登場人物や語り手、情景描写の描かれ方について、意見を交流させながら、自分の考えを深める。	(a) (b) (c)	
		類義語、対義語、多義語、同音語、同音の漢字	・言葉や漢字の使われ方についての理解を深める。	(c)	
		「連作ショートショート」を書く	・グループで共通の課題を設定し、意見や感想を交流させながら、文章を分担して書く。	(a)	

3　評価について

評価の観点及び内容・評価材料

観点	評価の観点及び内容	評価材料
知識・技能	言葉の特徴や使い方、話や文章に含まれる情報の扱い方、国語を構成する言語文化についての知識や技能の獲得状況を、各種テストや授業中の活動(作文、スピーチなど)、書写などから判断する。	○定期テスト ○聞き取りテスト ○書写(硬筆・毛筆) ☆ノート、プリント ☆単元テスト　☆小テスト ☆授業中の活動
思考・判断・表現	「話す・聞く」「書く」「読む」活動において、獲得した知識や技能を活用して課題を解決しようと、思考・判断・表現しているかどうかを、各種テストや授業中の活動(スピーチ、話し合い活動など)などから判断する。	○定期テスト ☆ノート、プリント ☆単元テスト ☆授業中の活動 ☆振り返りカード
主体的に学習に取り組む態度	国語の学習活動において、自らの学習に見通しを立て、積極的かつ粘り強く取り組もうとしているかどうかを、授業中の活動や態度、各種提出物(ノートやワーク、ワークシートなど)などから判断する。	○提出物(ノート、ワーク等) ☆学習態度　☆単元テスト ☆授業中の活動全般 ☆振り返りカード

☆印の項目は、授業に欠席した場合、評価に含めることができない場合があります。